

クラスの団結



ドラゴンカヌーで熱戦 須崎工高 校内大会



懸命にドラゴンカヌーをこぐ生徒たち（須崎市の浦ノ内湾）

【須崎】須崎工業高校の恒例行事、ドラゴンカヌー校内大会が14日、須崎市の浦ノ内湾で開かれた。全校生徒約290人と教員が14チームに分かれ、海上で熱戦を繰り広げた。毎年夏に開催される市の

ドラゴンカヌー大会は、1999年に同校造船科の教員と生徒が製作した船を市に贈ったことを機に始まった。校内大会は生徒同士の連帯感や協調性を養おうと2002年から開いている。

湾内に設けた200メートルの直線コースでタイムを競った。全長約20メートルのカヌーに乗り込んだ生徒たちは、太鼓の音に合わせてパドルを操り、懸命にゴールを目指した。

優勝した造船科3年生チームの寺村海信（かいし）さん（18）は「初優勝なのでとてもうれしい。他の学年の人とも交流できて良かった」と笑顔を見せていた。27日には市内外の高校生が競う「ドラゴン甲子園」、8月7日には県内外のチームが参加する市ドラゴンカヌー大会が開かれる。

（山本 仁）

高知新聞

須崎工高